

茶

熊本県 株式会社 お茶の富澤。 『阿蘇の恵みのお茶を海外へ』

【主な品目】

緑茶

【主な輸出予定国・地域】

アメリカ

【輸出取組の概要】

- ◆ EC販売による輸出を計画。
- ◆ 輸出国向け販促用プロモーション作成。

【輸出取組の背景】

- 1 国内でのリーフ茶の消費低迷に伴う、販売価格の低下により経営は厳しい状況である。
経営の安定、担い手不足、園地の荒廃等数多くの課題があり、課題解決に向けて、新たな販売先を検討していた。
- 2 緑茶等の日本茶はアメリカで需要が高まっており、輸出を検討していたためGFPへ登録。
- 3 「国際お茶フェス2020」(東京都)で、JFOODOによる輸出促進の講演に参加。近年、北米のIT企業を中心にマインドフルネス研修(リラックスや集中力を得るための方法)が広がっており、その中で、日本茶のリラックス効果に関心が高く、今後の需要が見込まれる。



「国際お茶フェス2020」(東京都)

【取組への課題】

- 1 輸出先国消費者の興味・関心の醸成、海外へ急須にこだわった「日本茶文化」の普及
- 2 嗜好品扱いイメージの払拭



茶の収穫

【対応の結果】

- 1 JFOODOと連携してEC販売を中心とした販売戦略を計画。
- 2 雄大な阿蘇の自然環境と伏流水により生産した茶葉及び茶の文化等、ストーリーを描写したプロモーションを作成。



茶園地と富澤氏

【今後の展望】

- 1 販路の拡大によって、経営の安定と廃園となった茶園を借り入れ規模拡大。
- 2 輸出を軌道に乗せて、地域の茶生産者の販売受皿化。
- 3 GAP、HACCPの取得、自然農法(オーガニック)による栽培を主体とした営農。
- 4 緑茶には、精神機能性(リラックス効果)を支えるアミノ酸成分であるテアニンが多く含まれることについて、積極的なプロモーションによる需要喚起。



茶の文化を普及

【活用した支援・施策】

【ウェブサイト】 <https://www.ochanotomizawa.co.jp/>

【連絡先】 担当者名: 富澤 堅仁、TEL: 096-286-2231